

# 令和元年度 第1回協議会資料 目次

## 令和元年度 事業報告

I 作品	1
(1) 展示	1
(2) 貸出	1
II 展覧会	2
(1) 企画展 荘司福・荘司貴和子展－院展の巨星・創画の新星	2
(2) 企画展 空間に線を引く－彫刻とデッサン展	4
III 教育普及	6
(1) 令和元年度実施プログラム	6
(2) スクールプログラム	6
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	7
(4) アートカードの貸出	7
IV その他の事業	8
(1) 事業	8
(2) 団体向け研修・体験プログラム	8
V 施設利用者等の統計（令和元年7月末現在）	9
(1) 展覧会	9
●観覧者数	9
●学校観覧	9
(2) 貸出施設	10
●市民アートギャラリー	10
●ミュージアムホール	10
●アトリエ	10

## 令和元年度 事業予定

I 展覧会	11
(1) 企画展 安野光雅展 絵本とデザインの仕事	11
(2) 特集展 所蔵品展 鳥海青児とその時代－半世紀ぶりの公開《瀬戸の山》	13
(3) 企画展 秋野不矩展	14
(4) 特集展 秋の所蔵品展－異界への扉	15
(5) 特集展 冬の所蔵品展－パフォーマンスする絵画（＋2018年新収蔵品）	16
(6) 特集展 ロビー展 糸賀英恵展 ーうつろいのかたち	17
II 教育普及	18
(1) 令和元年度実施予定プログラム	18
(2) スクールプログラム	18
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	18
III その他の事業	19
(1) 団体向け研修・体験プログラム	19

# 令和元年度 事業報告

## I 作品

### (1) 展示

当館展覧会において下表のとおり、451点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	荘司福・荘司貴和子展 - 院展の巨星・創画の新星	59点	0点	59点
2	企画展	空間に線を引く - 彫刻とデッサン展	297点	7点	290点
3	特集展	鳥海青児とその時代 半世紀ぶりの公開《瀬戸の山》	95点	89点	6点
計			451点	96点	355点

### (2) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり7点の作品を貸し出しました。



NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	武蔵野美術大学 大学美術館・図書館	内田めぐり展 5月20日～6月16日	2点	内田めぐり・『私の前にいる、目を閉じている』(寄託作品)『白い着物の裸婦』
2	足利市立美術館	空間に線を引く - 彫刻とデッサン展 - 6月16日～7月28日	5点	保田春彦・『壁に沿うかたち』『弧の交わる壁』『立体』『立体』『立体』
計			7点	

## Ⅱ 展覧会

### (1) 企画展 荘司福・荘司貴和子展一院展の巨星・創画の新星

種 別	企画展
会 期	4月20日(土)～6月9日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	神奈川県立近代美術館、東御市梅野記念絵画館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	44日
観覧者数	5,464人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)

 <p>荘司福《刻》 1985年 神奈川県立近代美術館蔵</p>	 <p>荘司貴和子《玄海の月》 1976年 東御市梅野記念絵画館蔵</p>
--	--

#### ●内容

荘司福(1910-2002、松本市生)は、女子美術専門学校師範科日本画部(現女子美術大学)卒業後、結婚して仙台に移り住みます。1941年河北新報社が主催する東北美術展(現河北美術展)に初入選し画家として出発。1946年院展に初入選、日本美術院研究会会員となり、郷倉千靱の画塾・草樹社の塾員となり研鑽を積むと、次第に院展で頭角を現し、1964年同人に推挙されます。そして1967年以降仙台から千葉、東京を経て、横浜市に居を構えて画業の後半生を展開していきます。作品は、初期の構成的な群像表現から、朽ちてゆく物象のモチーフを経て、1960～70年代には中国やインド、カンボジア、エジプトやケニアなどに取材旅行し、仏教遺跡やオリエントの神々の造形に着想を得て壮大なイメージを展開。さらに自然物や自然景を対象とした根源的な世界観の表現へと移行しました。

荘司貴和子(1939-79、神戸市生)は、東京藝術大学日本画科を卒業後、高校で教えながら制作活動に取り組みました。1964年から新制作協会日本画部に出品を重ね、1973、74年には春季展賞を受賞して画家として頭角を現します。1974年に新制作協会を離脱した日本画部会員により創画会が結成されると、1978年まで創画展に出品し、連続して春季展賞を受賞。その後の活躍が期待されましたが、1978年初夏に病状が現れ、翌年腸癌のために39歳という若さで惜しまれながら死去します。旅先でみた自然や建物をモチーフにしたその抽象的な作品は、簡潔な構成の中に、どこか懐かしさを感じさせる情感と気品を漂わせ、見るものの心に迫ります。

1971年以降、義理の親子として一緒に取材旅行に出かけ、それぞれの違いを認めながら制作に励んだ二人は、互いの才能に尊敬の念をもって相対しました。本展では、92歳で没するまで人間や自然と真摯に向き合った荘司福と、若くして没したがゆえに広く知られることがなかった荘司貴和子の作品、併せて59点を紹介しました。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：4月27日(土)、5月18日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者数 6人、30人

○講演会「福と貴和子ー絵描きと絵描き」

講師：荘司準氏(荘司福 御子息)

日時：6月1日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール ※申込不要、無料、先着150人

参加者数 100人

## (2) 企画展 空間に線を引く - 彫刻とデッサン展

種 別	企画展
会 期	4月20日(土)～6月9日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	一般財団法人地域創造
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般400円、高大生200円
開催日数	44日
観覧者数	6,091人
担 当	土方明司(当館館長代理)、品川ちひろ(当館嘱託員)
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>柳原義達《道標・鳩》1972年 三重県立美術館蔵</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>柳原義達《道標・鳩》1991年 碧南市藤井達吉現代美術館蔵</p> </div> </div>	

### ●内容

彫刻家は素材にはたらきかけ、何も無い空間に作品を表します。彫刻を制作するにあたり、自身のイメージを定着させるためデッサンを描く場合があります。彼らが描いたデッサンは魅力に富んでおり、画家のデッサンにはない美しさがあります。この美しさはどこから来るのでしょうか。

おおむね画家の絵は、三次元を二次元で表現します。一方、彫刻家のデッサンは二次元から三次元を目指します。対象が空間にどのように働きかけるかということが、常に彫刻家の念頭にあるからです。よって、彼らのデッサンは二次元でありながら、三次元とみなす感性のもと描かれています。紙面は空間であり、いわば空間に線を引く感性です。これらの線は、対象の存在感、ものの粗密を表現しているように見えます。これを可能としているのは彫刻家の「手」です。

彫刻家にとって、まず重要なのは触覚です。彫刻は視覚以前に触覚にうったえかける芸術です。彫刻家は触覚により作品を手がけます。画家と比べ彫刻家の手は、より触覚的です。彼らの手は描く以前に「触れる手」なのです。このような手によって描かれたデッサンはおのずと画家によるものとは異なります。彫刻家は空虚から対象をすくい出すかのように描きます。描くことがすなわち触れることであり、視覚と触覚の連動があります。これが彫刻家のデッサンの特異な点です。そこには、画家のデッサンにはない様々な要素が見出せることでしょう。本展はプロローグとして橋本平八から始め、具象、抽象の現代彫刻家19人のデッサンと、それに関連する彫刻を展示し、その魅力と創作の秘密に迫るものです。

●関連事業

○出品作家によるリレーギャラリートーク

日時：4月20日(土) 15:00～16:30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加作家：戸谷成雄氏、舟越桂氏、多和圭三氏、大森博之氏、青木野枝氏、三沢厚彦氏、  
棚田康司氏、長谷川さち氏

参加者数：125人

○ギャラリートーク

(1) 江尻潔氏(足利市立美術館次長)VS 土方明司(当館館長代理)

日時：5月3日(金・祝) 14:00～15:00

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者数：35人

(2) 三沢厚彦氏(彫刻家)VS 土方明司(当館館長代理)

日時：6月2日(日) 14:00～15:00

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者数：80人

○棚田康司氏によるワークショップ

日時：4月27日(土)、28日(日) 各日13:30～16:30 2回連続講座

場所：アトリエB

講師：棚田康司氏(彫刻家)

対象：親子(小中学生) ※要申込

参加者数：18人

○三沢厚彦氏によるワークショップ

日時：5月25日(土)、26日(日) 各日10:00～16:30 2回連続講座

場所：アトリエB

講師：三沢厚彦氏(彫刻家)

対象：15歳～一般 ※要申込

参加者数：15人

### Ⅲ 教育普及

#### (1) 令和元年度実施プログラム

9プログラムを実施 参加者数：282人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)、福田真由美(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	遊んでのびのび赤ちゃんアート春 (連続講座)	富田めぐみ*	4月25日(木) 5月9日(木) 6月6日(木)	500円	親子(1歳~2歳3か 月の未就園児)	24組 50人
2	木でおうちを作ろう!	棚田康司(彫刻家)	4月27日(土) 4月28日(日)	1,000円	親子(小・中学生)	8組 18人
3	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員	5月19日(日)	なし	小・中学生	23人
4	レリーフを作る	三沢厚彦(彫刻家)	5月25日(土) 5月26日(日)	1,000円	15歳~一般	15人
5	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう	河野孝博(東海大学 教授)、原田里糸 (同大学講師)	6月1日(土)	500円	中学生~一般	12人
6	おうちの窓を天の川にしよう! 星とカササギの七夕モビール作り	依田梓(美術家)	6月30日(日)	600円	親子(小・中学生)	17人
7	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ~お魚塗り絵で遊ぼう~	福山恵美子 (アートセラピスト)	7月6日(土)	200円	親子(小・中学生)	8組 18人
8	親子で製本体験~本作りに挑戦!~	上島明子(美鷲堂) 石田亮一(本づくり協会)	7月24日(水)	1,200円	親子(小学生)	9組 17人
9	作って遊ぼうわくわくランド	市内保育士・保育 教諭	7月27日(土)	なし	未就学児	36組 112人

\*NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

#### (2) スクールプログラム

##### ●児童・生徒向けプログラム

9プログラムを実施 参加者数：144人

NO	学校名	内容	実施日	参加者数
1	星槎国際高等学校 湘南学習センター 美術ゼミ	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	7月3日(水)	18人
2	神奈川県立藤沢清流高等学校	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー・バックヤード	7月12日(金)	6人
3	小田原市立白山中学校	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月19日(金)	14人
4	小田原市立城北中学校	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月20日(土)	16人
5	大磯町立大磯中学校	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月20日(土)	14人
6	藤沢市立長後中学校 美術部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月25日(木)	20人
7	平塚市立浜岳中学校 美術部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月26日(金)	22人
8	小田原市立泉中学校 美術部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月28日(日)	19人
9	小田原市立千代中学校 美術部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月30日(火)	15人

##### ●教員向けプログラム

1プログラムを実施 参加者数：7人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、福田真由美(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	先生のための美術鑑賞広場 (彫刻とデッサン展)	当館学芸員・嘱託員	5月5日(日)	小・中・高・特別支援学校 の教職員	7人

### (3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

市内小・中学生及び一般来館者を対象に対話による美術鑑賞やボランティア育成のための研修を実施しました。

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)、福田真由美(当館嘱託員)

#### ●小学生を対象に対話による美術鑑賞

1校3クラスを実施 参加者数：91人

NO	学校名	講師	事前授業日	学年	クラス数	参加者数
1	みずほ小学校	ひらびあ一つま〜れ13人	5月28日(火)、29日(水)	6年	3クラス	91人

#### ●中学生を対象に対話による美術鑑賞

1校5クラスを実施 参加者数：183人

NO	学校名	講師	実施日	学年	クラス数	参加者数
1	大野中学校	ひらびあ一つま〜れ16人	6月18日(火)、19日(水)	1年	5クラス	183人

#### ●一般来館者を対象に対話による美術鑑賞

4プログラムを実施 参加者数：53人

NO	鑑賞会名	講師	実施日	参加者数
1	絵を見て発見！4月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ8人	4月21日(日)	17人
2	絵を見て発見！5月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ4人	5月26日(日)	9人
3	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館1回目	ひらびあ一つま〜れ7人	7月23日(火)	13人
4	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館2回目	ひらびあ一つま〜れ12人	7月30日(火)	14人

#### ●ボランティア育成のための研修

9プログラムを実施 参加者数：85人

NO	講座名	講師	実施日	参加者数
1	実践研修1回目(1~4期)	三ツ木紀英(ARDA)	4月9日(火)	8人
2	自主研修1回目(1~4期)	田辺梨絵(ARDA)	4月24日(水)	8人
3	自主研修2回目(1~4期)	当館嘱託員	5月11日(土)	7人
4	体験会1回目	当館嘱託員	5月15日(水)	13人
5	実践研修2回目(1~4期)	三ツ木紀英(ARDA)	5月21日(火)	13人
6	自主研修3回目(1~4期)	当館嘱託員	6月4日(火)	3人
7	体験会2回目	当館嘱託員	6月8日(土)	10人
8	実践研修3回目(1~4期)	三ツ木紀英(ARDA)	6月22日(土)	10人
9	実践研修4回目(1~4期)	三ツ木紀英(ARDA)	7月20日(土)	13人

### (4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行いました。

貸出実績：1件12セット



## IV その他の事業

### (1) 事業

#### ●七夕飾り

会期：6月30日(日)～7月17日(水)

主催：平塚市美術館

内容：平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビール作り」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々と一緒に飾りつけ、来館者の目を楽しませました。

展示指導：依田梓氏(美術家)

場所：テーマホール ※自由観覧



#### ●博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生4人(4大学)を受け入れました。

### (2) 団体向け研修・体験プログラム

8プログラムを実施 参加者数：208人

NO	団体名	内容	実施日	参加者数
1	平塚市南ブロック公民館	「荘司福・荘司貴和子展」観覧・レクチャー	5月15日(水)	14人
2	ズシッブ連合会	「荘司福・荘司貴和子展」観覧・レクチャー	5月28日(金)	23人
3	梅野記念絵画館友の会	「荘司福・荘司貴和子展」観覧・レクチャー	6月2日(日)	20人
4	NPO 法人人間市文化創造ネットワーク	「荘司福・荘司貴和子展」観覧・レクチャー	6月7日(金)	40人
5	平塚市文化・交流課(高山市)	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	7月5日(金)	42人
6	平塚市文化・交流課(花巻市)	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	7月7日(日)	30人
7	伊勢原市小学校教育研究会	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー ・アートカードゲーム	7月23日(火)	20人
8	市民活動団体 平塚MAC	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月23日(火)	19人

## V 施設利用者等の統計 (令和元年7月末現在)

### (1) 展覧会

#### ●観覧者数

月	R元(H31)年度				H30年度				H29年度			
	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	25日	1,461人	-	1,461人	26日	2,132人	-	2,132人	26日	5,693人	-	5,693人
5月	27日	6,374人	-	6,374人	27日	7,372人	-	7,372人	26日	23,502人	-	23,502人
6月	26日	3,720人	108人	3,828人	26日	6,807人	-	6,807人	26日	20,666人	-	20,666人
7月	26日	7,289人	4,825人	12,114人	26日	16,633人	13,453人	30,086人	26日	4,200人	3,848人	8,048人
8月	日	人	人	人	27日	42,429人	32,934人	75,363人	27日	9,538人	7,944人	17,482人
9月	日	人	人	人	27日	7,310人	5,575人	12,885人	26日	250人	704人	954人
10月	日	人	人	人	26日	6,046人	4,732人	10,778人	26日	6,710人	-	6,710人
11月	日	人	人	人	26日	7,519人	5,572人	13,091人	26日	8,953人	-	8,953人
12月	日	-	人	人	25日	-	1,992人	1,992人	24日	-	2,355人	2,355人
1月	日	-	人	人	24日	-	3,506人	3,506人	24日	-	3,544人	3,544人
2月	日	-	人	人	24日	-	3,406人	3,406人	25日	-	3,437人	3,437人
3月	日	-	人	人	24日	-	2,067人	2,067人	27日	-	1,601人	1,601人
4月	日	-	人	人	6日	-	109人	109人	7日	-	21人	21人
計	104日	18,844人	4,933人	23,777人	314日	96,248人	73,346人	169,594人	316日	79,512人	23,454人	102,966人

#### ●学校観覧

		R元(H31)年度						H30年度						H29年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	2校	11人	5人	-	-	-	8校	357人	35人	9校	408人	42人	2校	164人	10人	3校	104人	15人
	市外	1校	67人	3人	-	-	-	14校	477人	39人	13校	831人	53人	11校	498人	28人	5校	297人	18人
中学校	市内	2校	26人	5人	-	-	-	4校	39人	9人	7校	57人	22人	20校	468人	54人	4校	32人	10人
	市外	8校	104人	12人	-	-	-	15校	221人	26人	14校	218人	25人	14校	228人	49人	10校	187人	19人
高等学校		5校	52人	12人	1校	15人	2人	15校	145人	42人	8校	82人	24人	6校	95人	35人	7校	113人	37人
計		18校	260人	37人	1校	15人	2人	56校	1,239人	151人	51校	1,596人	166人	53校	1,453人	176人	29校	733人	99人

## (2) 貸出施設

### ●市民アートギャラリー

月	R元(H31)年度			H30年度			H29年度		
	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4月	25日	6団体	2,822人	24日	7団体	3,262人	24日	4団体	2,995人
5月	26日	7団体	4,089人	30日	7団体	4,401人	30日	7団体	5,930人
6月	24日	7団体	4,038人	24日	7団体	3,936人	24日	7団体	5,311人
7月	29日	5団体	2,951人	30日	7団体	6,176人	20日	5団体	3,536人
8月	日	団体	人	24日	5団体	10,033人	29日	7団体	4,860人
9月	日	団体	人	25日	7団体	3,613人	23日	6団体	4,293人
10月	日	団体	人	29日	5団体	4,280人	32日	6団体	4,589人
11月	日	団体	人	26日	5団体	7,177人	24日	7団体	9,331人
12月	日	団体	人	12日	3団体	1,622人	12日	3団体	2,568人
1月	日	団体	人	27日	7団体	5,807人	27日	6団体	4,859人
2月	日	団体	人	18日	5団体	3,910人	19日	6団体	3,219人
3月	日	団体	人	25日	3団体	3,498人	29日	3団体	2,434人
計	104日	25団体	13,497人	294日	68団体	57,715人	293日	67団体	53,925人

### ●ミュージアムホール

月	R元(H31)年度			H30年度			H29年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	3日	3団体	235人	8日	8団体	523人	6日	6団体	477人
5月	-	-	-	1日	1団体	40人	-	-	-
6月	9日	9団体	825人	4日	4団体	305人	7日	7団体	518人
7月	2日	2団体	185人	3日	3団体	102人	1日	1団体	40人
8月	日	団体	人	1日	1団体	89人	-	-	-
9月	日	団体	人	7日	7団体	369人	6日	6団体	366人
10月	日	団体	人	-	-	-	-	-	-
11月	日	団体	人	7日	7団体	530人	2日	2団体	190人
12月	日	団体	人	10日	10団体	813人	12日	12団体	1,000人
1月	日	団体	人	4日	4団体	315人	5日	5団体	398人
2月	日	団体	人	2日	2団体	200人	7日	7団体	539人
3月	日	団体	人	10日	10団体	676人	8日	8団体	630人
計	14日	14団体	1,245人	57日	57団体	3,962人	54日	54団体	4,158人

### ●アトリエ

月	R元(H31)年度			H30年度			H29年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	3日	3団体	30人	1日	1団体	7人	1日	1団体	5人
5月	2日	2団体	18人	3日	3団体	87人	3日	3団体	13人
6月	4日	4団体	44人	6日	6団体	242人	2日	2団体	32人
7月	4日	4団体	53人	3日	3団体	30人	1日	1団体	7人
8月	日	団体	人	4日	4団体	101人	3日	3団体	60人
9月	日	団体	人	4日	4団体	35人	1日	1団体	5人
10月	日	団体	人	8日	8団体	261人	6日	6団体	227人
11月	日	団体	人	4日	4団体	30人	2日	2団体	16人
12月	日	団体	人	2日	2団体	18人	7日	7団体	225人
1月	日	団体	人	9日	4団体	351人	10日	3団体	171人
2月	日	団体	人	5日	5団体	35人	1日	1団体	5人
3月	日	団体	人	3日	3団体	31人	3日	3団体	110人
計	13日	13団体	145人	52日	47団体	1,228人	40日	33団体	876人

# 令和元年度 事業予定

## I 展覧会

### (1) 企画展 安野光雅展 絵本とデザインの仕事

種 別	企画展
会 期	7月6日(土)～8月25日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	津和野町立安野光雅美術館
協 賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) ※8月3日(土)～8月18日(日)は開館時間を1時間延長
休 館 日	月曜日 ※7月15日(月・祝)、8月12日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	44日
担 当	江口恒明(当館学芸員)



安野光雅《ふしぎなえ》 8, 9p 1968年



安野光雅《天動説の絵本》 28, 29p 1979年

#### ●内容

1968年に『ふしぎなえ』で絵本デビューをした安野光雅は、画家、絵本作家、装丁家、デザイナーなど幅広く活躍し、国際アンデルセン賞をはじめ、国内外でさまざまな賞を受賞しています。豊かな知識と想像力でたくさんの不思議を詰めこみ、丁寧に描かれた作品は、今なお大人から子どもまでたくさんの人々を惹きつけています。

たくさんの絵本を世に出してきた安野光雅ですが、美術のみならず科学・数学・文学にも造詣が深く、絵本以外にも文芸書や数学書などの挿絵や表紙を描いたり、エッセイや画文集を出版したりするなど作品は多岐にわたります。本展覧会では、安野光雅の仕事を語る上では切り離せない絵本の原画はもちろんのこと、装丁、ポスターなども展示し、初期から現在までの安野光雅の世界の全貌を紹介します。

#### ●関連事業

○講演会「安野光雅の世界」

日時：7月13日(土) 14:00～15:30

場所：ミュージアムホール ※申込不要、無料、先着150人

講師：大矢鞆音氏(津和野町立安野光雅美術館館長)

参加者数：150人

○ワークショップ「親子で製本体験～本作りに挑戦！～」

日時：7月24日(水) 13:30～16:30

場所：アトリエB ※要申込

講師：上島明子氏(美篤堂)、石田亮一氏(本づくり協会)

参加者数：17人

○ワークショップ「おしぼいをあそぶ～人形劇を体験しよう～」

日時：8月18日(日) 10:00～16:00

場所：アトリエA・B ※要申込



講師：高橋奈巳氏(人形劇団ひとみ座)

○学芸員によるギャラリートーク

日時：7月28日(日)、8月17日(土) 14:00～14:30

場所：展示室I ※申込不要、要観覧券

(2) 特集展 所蔵品展 鳥海青児とその時代—半世紀ぶりの公開《瀬戸の山》

種 別	特集展
会 期	6月29日(土)～9月23日(月・祝)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) ※8月3日(土)～8月18日(日)は開館時間を1時間延長
休 館 日	月曜日 ※7月15日(月・祝)、8月12日(月・振休)、9月16日(月・祝)、 9月23日(月・祝)は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	75日
担 当	家田奈穂(当館学芸員)
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>鳥海青児《瀬戸の山》 1941年 当館蔵</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鳥海青児《ピカドール》 1958年 当館蔵</p> </div> </div>	

●内容

このたび平塚市美術館では「所蔵品展 鳥海青児とその時代 — 半世紀ぶりの公開《瀬戸の山》」を開催いたします。

鳥海青児(1902-1972)は、平塚を代表する油彩画家です。関西大学在学中の1924年に春陽会に初入選し、頭角を現します。やがて本格的な絵画研究を目指して1930年渡欧し、ゴヤ、レンブラントらの作品に強い関心を寄せました。1933年に帰国すると春陽会会員推され、渡欧で培われた造形思考をもとに、日本の風土に根ざした堅固な表現を目指して制作活動を展開しました。1943年独立美術協会に移り、以降、同会を活動の場とします。はじめフォービズムの影響のもと自然の重厚さを描く風景として出発した鳥海は、日本のみならず、中国、エジプト、イラン、インド、ペルー、メキシコなど世界各地に取材し、モチーフを静物、人物、建造物、遺跡などに広げます。西洋のみならず東洋の古美術への深い造詣により、モチーフの形態を単純化して描く、象徴的なリアリズムを追求するとともに厚塗りのマチエールを駆使して、ヨーロッパの借り物でない独自の表現を追求しました。

開館以来、鳥海の顕彰に勤めてきた当館では、タブロー、デッサン等をあわせると160点を超える作品を有し、その画業を間断なく追うことができます。今般、鳥海の戦前の作である《瀬戸の山》

(1941年)が新たに収蔵されました。1971年の「鳥海青児自選展」以来、48年振りとなる作品の公開を記念して、鳥海青児の画業を振り返りつつ、同時代の画家たちの作品を含む約90点を紹介します。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：7月27日(土)、8月24日(土) 各回14:00～14:30

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

### (3) 企画展 秋野不矩展

種 別	企画展
会 期	10月5日(土)～12月1日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	浜松市秋野不矩美術館
助 成	公益財団法人朝日新聞文化財団
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※10月14日(月・祝)、11月4日(月・振休) は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般 800円、高大生 500円
開催日数	50日
担 当	勝山滋(当館学芸員)
	
<p>《朝の祈り》1987年</p> <p>《ラージャラーニー寺院Ⅱ》1995年</p>	

#### ●内容

秋野不矩(あきのふく、1908-2001)は現在の静岡県浜松市に生まれた女性画家です。1930年から官展への人物画出品を経て、1948年に日本画の革新をめざす美術団体「創造美術」(現・創画会)の結成に参加。1962年に現・タゴール国際大学(西ベンガル州・シャンチニケタン)での日本画客員教授としてインドに渡ると、その後生涯で14回インドに訪問し、その印象を企画展や個展などで発表し、高く評価されました。作品にはインド特有の強烈な日差しや暑さ、雨季に一変する川の様子、さらに力強く生きる人々が描かれるとともに、その根底には伝統的な岩絵の具の技術があり、また近代絵画としてのモダンで斬新な構成があって我々を魅了します。

その目覚ましい活躍は毎日芸術賞(1986年)、日本芸術大賞(1993年)、文化勲章受章(1999年)へと結実しました。また戦後は絵本原画も精力的に制作しています。

本展は、県内では2008年に神奈川県立近代美術館葉山館で開催されて以来11年ぶりとなる回顧展で、インドに取材した代表作など50点により、そのおおらかで気高い画業の高みを紹介します。

#### ●関連事業

○講演会「秋野不矩を語る」

日時：11月2日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール ※申込不要、先着120人

講師：藤森照信氏(建築家・江戸東京博物館館長)

○学芸員によるギャラリートーク

日時：10月5日(土)、19日(土)、11月16日(土)、30日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

○ワークショップ 「インドのろうけつ染め・バティックを体験しよう」

日時：11月23日(土・祝) 10:00～12:00 ※要申込

講師：島村智子氏 (sunny batik)

#### (4) 特集展 秋の所蔵品展－異界への扉

種別	特集展
会期	10月5日(土)～12月8日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日 ※10月14日(月・祝)、11月4日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	57日
担当	江口恒明(当館学芸員)



山本直彰《Door S-2》1995年



工藤甲人《春を呼ぶ》1971年

#### ●内容

異界とは人々の日常世界や生活世界の外側にあると考えられている世界をさします。慣れ親しんだ世界とは異なる領域は、敵対的であったり危険な場所、あるいは畏怖の対象として捉えられ、古来より天上、地下、海の彼方などは異なる者が住んでいると考えられていました。現代においても、映画や小説の中で様々な異界が描かれています。本展では日常の世界と異なる世界、その境界と往来ととたえ、たとえば、桃源郷や霊的な世界を想像した作品、あるいは、異文化や海外など、作家が住む世界とは異質な空間を描いた作品を展示し、日常の世界との境界を挟んで存在する世界の表現について考えます。

#### ●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：会期中2回 各回14:00～14:30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券



(5) 特集展 冬の所蔵品展ーパフォーマンスする絵画 (+2018年新収蔵品)

種 別	特集展
会 期	12月14日(土)～2月24日(月・振休)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※1月13日(月・祝)、2月24日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館 年末年始(12月29日(日)～1月3日(金))
観 覧 料	一般 200円、高大生 100円
開催日数	58日
担 当	江口恒明(当館学芸員)
	
<p>海老原喜之助《曲馬》1935年頃</p> <p>小関利雄《蛙の五月祭》1986年</p>	

●内容

歌う・踊る・演じる・装う・祈る—人間の身体の動きや身体による表現をテーマに、当館所蔵作品の中から展示します。人間の身体表現は、ダンスや演劇といった非日常の空間をつくりだすものから生活上の単純な動作まで、あらゆる表現がコミュニケーションの手段となり得ます。そのような観点から広い意味で身体による表現を描いた作品を紹介します。

併せて、2018年度に新たに収蔵された作品を展示するコーナーを設けて紹介します。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：会期中2回 各回14:00～14:30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

(6) 特集展 ロビー展 糸賀英恵展 うつろいのかたち

種 別	特集展
会 期	12月14日(土)～4月5日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※1月13日(月・祝)、2月24日(月・振休) は開館し、翌火曜日休館 年末年始(12月29日(日)～1月3日(金))
観 覧 料	無料
開催日数	92日
担 当	勝山滋(当館学芸員)
	

●内容

横浜に生まれ、現在相模原で制作する糸賀英恵(いとが はなえ、1978-)は、多摩美術大学を卒業後、2003年に大学院を修了し、行動展に出品、受賞のほか個展やグループ展で活躍する金工作家です。糸賀の制作テーマは「うつろう生命にひそむ美を探る」ことであり、銅板を鍛金の技法で曲面加工しながら、季節や時間のうつろいの中にひそむ生命の美を表しています。作品には花や光が表現され、華やかさとうらはらかな、はかない生命の輪廻が感じられます。

太陽光のふりそそぐテーマホールの、うつろう陽光のなかで立ち現れる糸賀英恵の作品世界をご堪能いただきます。

●関連事業

○作家によるギャラリートーク

日時：12月14日(土)、3月29日(日) 各回14:00～14:40

場所：テーマホール ※申込不要

○ワークショップ

日時：2～3月中のうち1日間 2回(10:00～11:00、13:00～14:00)

場所：アトリエB ※事前申込

## Ⅱ 教育普及

### (1) 令和元年度実施予定プログラム

#### 4 プログラムを実施予定

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)、福田真由美(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施予定日	材料費	対象
1	遊んでのびのび赤ちゃんアート夏 (連続講座)	富田めぐみ*	7月4日(木) 8月1日(木) 9月5日(木)	500円	親子(1歳～2歳3か月の未就園児)
2	中高生ボランティアと一緒にオリジナルグッズを作ろう!	中学生高校生ボランティアスタッフ	8月2日(金) 8月3日(土) 8月4日(日)	1個50円	3才～一般
3	作って遊ぼうわくわくランド	市内保育士・保育教諭	8月17日(土)	なし	未就学児
4	おしばいをあそぶ～人形劇を体験しよう～	高橋奈美(人形劇団ひとみ座)	8月18日(日)	1,500円	小学生

\*NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

### (2) スクールプログラム

#### ●児童・生徒向けプログラム

#### 2 プログラムを実施予定

NO	学校名	内容	実施予定日
1	藤沢市立湘南台中学校 美術部	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	8月2日(金)
2	平塚市立大洋中学校 美術部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	8月9日(金)

#### ●教員向けプログラム

#### 2 プログラムを実施予定

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、福田真由美(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施予定日	対象
1	先生のための美術鑑賞広場 (安野光雅展)	当館学芸員・嘱託員	8月7日(水)	小・中・高・特別支援学校の教職員
2	先生向け体験ワークショップ	浅見俊哉(美術家・写真作家)	8月14日(水)	小・中・高・特別支援学校の教職員

### (3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

一般来館者を対象に対話による美術鑑賞やボランティア育成のための研修を実施します。

担当：江口恒明(当館学芸員)、雲中あみ(当館嘱託員)

#### ●一般来館者を対象に対話による美術鑑賞

#### 2 プログラムを実施予定

NO	鑑賞会名	講師	実施予定日
1	絵を見て発見!夏のおしゃべり美術館3回目	ひらびあ一つま～れ	8月6日(火)
2	絵を見て発見!夏のおしゃべり美術館4回目	ひらびあ一つま～れ	8月20日(火)

●ボランティア育成のための研修

11プログラムを実施予定

NO	講座名	講師	実施予定日
1	基礎研修1回目(5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	9月7日(土)
2	基礎研修2回目(5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	9月14日(土)
3	実践研修1回目(5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	10月12日(土)
4	実践研修2回目(5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	10月25日(金)
5	実践研修3回目(5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	11月9日(土)
6	アートカード研修1回目(5期)	桑原和美 (ARDA)	11月22日(金)
7	アートカード研修2回目(5期)	桑原和美 (ARDA)	12月7日(土)
8	実践研修4回目(5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	1月18日(土)
9	実践研修5回目(5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	2月8日(土)
10	全体研修(1~5期)	当館嘱託員	2月21日(金)
11	実践研修6回目(5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	3月13日(金)

### Ⅲ その他の事業

(1) 団体向け研修・体験プログラム

3プログラムを実施予定

NO	団体名	内容	実施予定日
1	東海大学 教務課	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー・バックヤードツアー	8月2日(金)
2	平塚市南ブロック公民館	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	8月8日(木)
3	平塚市北ブロック公民館	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	8月9日(金)